

# 令和元年度 埼玉県社会福祉事業団 事業報告書

## 1 本部事務局

理事会・評議員会の運営及びその決定に基づく各事業の調整、人事、財務を適切に実施するとともに、県・市町村等との協議・連絡調整を行った。

### 1 理事会・評議員会の開催

#### (1) 理事会

	開催日等	決議事項
第1回	1 日時 令和元年6月6日(木) 13:30~14:25 2 会場 埼玉県県民健康センター 3 出席理事 理事総数8名中6名	1 平成30年度事業報告及び決算について 2 理事候補者の選定について 3 監事候補者の選定について 4 会計監査人の再任について 5 令和元年度定時評議員会の招集について
第2回	1 日時 令和元年11月14日(木) 14:00~14:40 2 会場 埼玉県県民健康センター 3 出席理事 理事総数8名中7名	1 評議員候補者の選定について 2 評議員選任・解任委員会の招集について
決議省略	決議されたとみなした日 令和2年3月27日(金)	1 令和元年度補正予算について 2 令和2年度事業計画及び予算について 3 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団定款の変更について 4 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団諸規程の一部改正について 5 指定管理に係る基本協定及び年度協定の締結について 6 業務委託契約の締結について 7 理事候補者の選定について 8 施設長等の選任について 9 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団定款第13条第4項に基づく評議員会の決議の省略について

#### (2) 評議員会

	開催日等	決議事項
定時	1 日時 令和元年6月25日(火) 13:30~14:30 2 会場 埼玉県県民健康センター 3 出席評議員 評議員総数16名中13名	1 平成30年度事業報告及び決算について 2 理事の選任について 3 監事の選任について
決議省略	決議されたとみなした日 令和2年3月30日(月)	1 令和元年度補正予算について 2 令和2年度事業計画及び予算について 3 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団定款の変更について 4 理事の選任について

## 2 監査の実施

### (1) 監事監査

監事監査実施日	受 検 施 設
5月21日(火)	本部事務局、おお里、あげお、嵐山郷、皆光園、 障害者交流センター
5月23日(木)	本部事務局

### (2) 会計監査

公認会計士を監査人とする会計監査を実施し、会計書類の正確性と経営の透明性の確保に努めた。

## 3 各施設の管理

施設長会議(毎月1回)や施設巡回指導などを通じて、理事会が決定する事業計画を円滑に推進させるとともに、各施設で生じた課題等に対処した。

### (1) 指定管理事務の円滑な推進

前年度の事業報告及び翌年度の事業計画、その他指定管理業務に係る書類の提出など、指定管理者事務を円滑に推進した。また、児童養護施設「おお里」について、令和2年度から令和6年度までの5年間の指定管理者として埼玉県から引き続き指定を受けた。

### (2) 自主経営施設の健全な運営

効率的な施設運営を行うとともに、施設の利用率向上に努め、事業の継続やサービス向上に必要な財源を確保し、健全な経営基盤の確立を進めた。

### (3) 既存施設の改築

障害者支援施設皆光園の改築に係る基本設計及び実施設計を行った。

### (4) 児童の自立支援

上里学園、おお里及びいわつきの児童養護施設において、①就職に向けた社会・就労体験事業(企業での就労体験)、②民間企業OB及び地域サポーターによる進路(就職・進学)支援事業、③施設退所後のアフターケアの3つの事業を実施した。

また、大学等進学を希望する児童に対する経済的な支援として、児童養護施設入所児童大学等進学支援資金給付要綱に基づき、申請のあった児童について速やかに対応を行った。

### (5) 危機管理体制の強化

事故防止やヒヤリハットの取組を進めるとともに、役員や本部職員が各施設を巡回し、夜間時の職員配置や処遇状況、利用者支援上の問題点や兆候の把握状況などを点検・指導した。

### (6) 利用者の権利擁護

全施設において利用者の権利擁護と虐待防止を徹底するため、全職員を対象としたセルフチェックを実施するとともに、権利擁護研修を開催した。

## 4 人事管理

### (1) 正規職員の職種別の現員状況

令和2年3月31日現在(人)

区 分	定 数	事務職	支援員等	栄養士	医師	歯科医師	看護師	歯科衛生士	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	聴能訓練等	合 計
計	551	70	388	10	3	5	42	6	2	0	0	3	4	533

※ 欠員の内訳：医師1人、臨床検査技師2人、放射線技師1人、理学療法士1人、支援員13人

## (2) 令和元年度新規採用者 (人)

職種	支援員	看護師	歯科衛生士	合計
人数	35	2	1	38

## (3) 令和元年度退職者 (人)

退職理由	定年	勸奨	自己都合	総数
人数	10	4	17	31

## 5 職員研修

## (1) 基本研修 (開催回数18回・受講者数502人)

研修名	回数	受講者数	研修名	回数	受講者数
契約職員研修Ⅰ	3回	51人	初級研修Ⅰ	1回	40人
契約職員研修Ⅱ	1回	10人	初級研修Ⅱ	1回	23人
契約職員研修Ⅲ	1回	10人	新任主任研修	1回	26人
採用時研修Ⅰ	1回	42人	主任研修	3回	129人
採用時研修Ⅱ	1回	42人	新任監督者研修	1回	12人
新規採用職員宿泊研修	1回	23人	管理・監督者研修	3回	94人

## (2) 特別研修 (開催回数11回・受講者数228人)

研修名	回数	受講者数	研修名	回数	受講者数
権利擁護研修	2回	50人	ヒヤリハット研修	2回	57人
キャリア&デザイン研修	1回	8人	ハラスメント防止研修	1回	18人
職員交流研修	1回	19人	問題解決力研修	2回	38人
安全運転講習	2回	38人			

## 6 財務管理

社会福祉法人会計基準に基づく会計規程により、適正な財務管理に努めたほか、予算・決算の開示による透明性の確保を図った。

また、透明性・競争性を確保するため、業務委託及び物品購入等に関する入札を実施した。

## 2 上里学園

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。地域との積極的な交流を行うとともに、実習生やボランティアを積極的に受け入れた。

### 1 利用者状況

#### (1) 入退所の状況 (人)

定員 140	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	入所	0	0	0	3	1	3	1	0	1	0	0	4	13
退所	2	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	6	12	
在所	111	110	110	112	113	115	116	116	116	116	116	114	—	

(「在所」は、各月末の児童数)

#### (2) 一時保護の状況 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入人数	6	2	1	2	3	0	1	0	0	1	1	2	19
一時保護児童数	6	7	6	6	7	5	4	3	2	3	3	5	57
延人日数	126	170	165	128	140	110	81	66	62	71	63	108	1,290

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

#### (3) ショートステイ事業の受け入れ

実人数	延べ人数
4人	25日

## 2 利用者支援

### (1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

措置機関(児童相談所)別受託状況

令和2年3月31日現在(人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	6	11	24	27	29	11	2	4	114
比率	5.3%	9.6%	21.1%	23.7%	25.4%	9.6%	1.8%	3.5%	100.0%

### (2) 児童の自立に向けた支援

#### ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の会社見学及び職場体験、アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
5人	13日	5社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
12人	7人	

#### イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人の心構え」指導人数
3人	4人

ウ 就職・進学状況

学年	人数	進路状況
中 3	10人	・全日制高校 8人 ・定時制高校 1人 ・特別支援学校 1人
高 3 (特別支援学校)	2人 (1人)	・就職3人

(3) 退所児童に対するアフターケア

施設で対応する窓口を明確にし、退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計	
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他					
					メール	その他				
退所児童(本人) (59人)	165	92	1	6	97	13	374	94	468	
本人以外	保護者	9	1	0	0	0	2			12
	児相	28	0	0	0	0	1			29
	職場	0	1	0	0	0	0			1
その他	47	0	0	0	0	5	52			

(4) 心理ケアの実施状況

被虐待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医師	24人	251回	13回
臨床心理士等	32人	276回	111回

(5) 家族宿舎等を活用した自活訓練

高校2～3年生を対象に実施し、一人で生活する際の知識や技術の確認を行った。

実人数	延べ回数	延べ日数
4人	4回	34日

(6) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

(7) 地域住民との交流・連携

地域と共に歩む施設として、地域住民やスポーツ少年団の活動の集会場所として、会議室やグラウンドの提供を行った。さらに地域住民に対し、栄養士による食事指導等のミニ講座を実施したり、共催で納涼祭を行うなど地域住民との交流を図った。

また、近隣市町村と連携した子育て短期支援事業や地域住民と連携した防犯パトロール等を実施し、地域の子育て支援に取り組んだ。

(8) 主な行事の実施状況

年月	主な行事内容
31. 4	お花見昼食会
令和元. 5	各寮行事(バーベキュー等) プロ野球観戦
6	サッカー観戦
7	納涼祭、サッカー交流試合
8	サッカー観戦、一泊旅行、球技大会、ソフトボール交流試合
9	サッカー観戦
10	学校行事参加、遊園地招待、サッカー観戦
11	中高生行事、七五三
12	クリスマス会、鐘つき、そばボランティア
令和2. 1	初詣
2	ボランティア等感謝の集い、ピアノ発表会
3	卒園行事

(9) ボランティアの受入れ

受入延べ人数	主 な 内 容
219人	行事関係、遊び、学習、剣道ボランティア等

(10) 実習生の受入れ

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	93人	1,092日
社会福祉士実習	4人	84日
計	97人	1,176日

(11) 見学者の受入れ

受入延べ人数
134人

### 3 利用者等のニーズの把握及び対応

意見箱を設置し、児童の要望等の把握に努めた。また児童会を実施し、意見の収集を行うとともに、日常的に対話を心がけ細かな要望にも対応するよう努めた。

また、嗜好調査・残菜調査を実施し、好みを取り入れた献立作りに努めるとともに、児童にアンケートを実施し、その結果を基に生活の改善に向け努力した。

### 4 施設・設備の維持管理

(1) 工事の実施

管理当直室の改修工事を実施した。

(2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

### 5 危機管理への対応

(1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 総合防災訓練、夜間想定訓練などを含め防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 不審者対応等の防犯訓練を実施し、緊急時に対応できる体制を整えた。

(4) 危機管理体制の充実

ア 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

イ 問題兆候への「気づき」

寮会議等における情報交換を綿密に行うとともに、セルフチェックなどの機会も利用し、寮職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

ウ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止及び権利擁護に関する研修を実施した。

### 6 職員の育成

(1) 事例検討会や性教育に係る研修、外部講師による児童支援に関する研修、そだれん研修を実施した。

(2) 外部研修に積極的に参加し、研修報告会を行った。

### 3 おお里

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。地域との積極的な交流を行うとともに、実習生やボランティアを積極的に受け入れた。

#### 1 利用者状況

##### (1) 入退所の状況

定員	月 区分	(人)												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
116	入所	1	0	0	1	7	0	1	0	1	0	0	1	12
	退所	1	4	0	1	0	0	1	0	1	0	0	9	17
	在所	105	101	101	101	108	108	108	108	108	108	108	100	—

(「在所」は、各月末の児童数)

##### (2) 一時保護の状況

月		(人)												計
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
新規受入 人数	3	10	4	2	2	1	0	0	0	0	0	0	22	
一時保 護 児 童 数	3	13	12	9	7	2	1	0	0	0	0	0	47	
延人日 数	68	115	261	197	87	48	31	0	0	0	0	0	807	

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

#### 2 利用者支援

##### (1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

措置機関(児童相談所)別受託状況

令和2年3月31日現在(人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	3	6	14	17	29	14	16	1	100
比率	3.0%	6.0%	14.0%	17.0%	29.0%	14.0%	16.0%	1.0%	100.0%

##### (2) 児童の自立に向けた支援

###### ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の会社見学及び職場体験、アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
11人	15日	8社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
28人	9人	

###### イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人の心構え」指導人数
3人	3人

###### ウ 就職・進学の状況

学年	人数	進路状況
中3	9人	・全日制高校 9人
高3	4人	・進学 2人 ・その他 2人

※その他は、医療的ケアに基づく就労

(3) 退所児童に対するアフターケア

施設で対応する窓口を明確にし、退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計	
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他					
					メール	その他				
退所児童(本人) (84人)	86	166	1	11	60	13	337	201	538	
本人以外	保護者	55	3	0	0	4	1			63
	児相	50	8	0	0	0	2			60
	職場	14	2	0	0	0	0			16
	その他	56	4	0	0	0	2	62		

(4) 心理ケアの実施状況

被虐待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医師	18人	209回	8回
臨床心理士等	71人	774回	301回

(5) 親子訓練棟を活用した自活訓練

高校生を対象に実施し、一人で生活する際の知識や技術の確認を行った。

実人数	延べ回数	延べ日数
24人	43回	107日

(6) ホームステイ事業の状況

家庭生活経験の少ない児童に対し、ボランティア家庭の協力によるホームステイ事業を積極的に行い、家庭生活の体験を通して社会性が身につくように支援した。

児童数	参加延べ日数
5人	16日

(7) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

(8) 地域住民との交流・連携

熊谷市中恩田地区など近隣で開催される行事への児童の参加や地域との共催の納涼祭を行うなど地域住民との交流を図った。

また、地域住民と防災訓練及び総合防災訓練を行うことなどを通して連携を深めた。

(9) 主な行事の実施状況

年月	主な行事内容
31.4	地域との顔合わせ会、開園記念行事
令和元.5	れんげ祭り、バーベキュー
6	ジャガイモ収穫
7	天王様神輿かつぎ
8	納涼祭、宿泊旅行、球技大会
9	サッカー観戦
11	ラーメン店招待、地域との防災訓練
12	餅つき
令和2.1	初詣
3	マナー教室

(10) ボランティアの受入れ

受入延べ人数	主な内容
213人	行事関係ボランティア、遊びボランティア等



(11) 実習生の受入れ

区 分	実人数	延べ日数
保育士実習	115人	1,343日

(12) 見学者の受入れ

受入延べ人数
111人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

児童会の開催や意見箱の設置、満足度調査、アンケートの実施等を通し、児童及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 工事の実施

A棟及びB棟についてシンクの取り付け、リビング床の研磨、脱衣所の換気扇及び整備、大部屋の個室化などの改修を実施した。

(2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い、安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 総合防災訓練、夜間想定訓練、地震・水害対策などを含めた防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。また、台風19号の際には、避難勧告発令により在籍児童及び職員の近隣小学校への避難を実施した。

(3) 熊谷警察協力のもと、児童向け防犯教室を7月に実施した。また、不審者侵入を想定し、さすまたの使用法、通報及び避難など職員向けの防犯訓練を11月に実施した。

(4) 危機管理体制の充実

ア 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

イ 問題兆候への「気づき」

階会議等において情報交換を綿密に行うとともに、職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

ウ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止及び権利擁護に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 大学と連携し、他の児童養護施設と合同で処遇困難児童等に係る事例検討会を実施した。

また、小中学校の教員や他施設の職員等合同で、「社会的養護の必要な児童に対する支援の方法」の研修会を実施した。

(2) 全体会議において、職員が参加した研修の報告を行うことで研修成果の水平展開を図り、育成に努めた。

## 4 いわつき

入所児童が安全で安らぎのある生活が送れるよう養護するとともに、児童の自立に向けた支援を行った。

被虐待児など心に傷を負った児童に対して、精神科医や臨床心理士等による心のケアに努めた。地域との積極的な交流を行うとともに、実習生やボランティアを積極的に受け入れた。

### 1 利用者状況

#### (1) 入退所の状況

##### ア 児童養護施設

(人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		88	入所	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	
退所	0		1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	5	9
在所	85		84	87	88	88	87	87	87	87	87	86	85	—

##### イ 乳児院

(人)

定員	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		9	入所	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	
退所	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
在所	6		6	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	—

(「在所」は、各月末の児童数)

#### (2) 一時保護の状況

##### ア 児童養護施設

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入人数	3	4	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	11
一時保護児童数	3	6	4	1	0	1	1	2	1	1	1	1	22
延人日数	51	74	48	24	0	5	31	31	11	5	29	2	311

##### イ 乳児院

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規受入人数	4	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	8
一時保護児童数	4	3	1	1	1	0	1	2	1	0	1	1	16
延人日数	58	92	3	31	6	0	12	31	24	0	16	4	277

※4月は3月からの継続を含む。

(「一時保護児童数」は、当該月に保護した月間の児童数)

#### (3) ショートステイ事業の受け入れ (里親レスパイト含む)

児童養護		乳児院	
1人	延べ7日	1人	延べ6日

### 2 利用者支援

(1) 児童一人ひとりの児童自立支援計画を策定し、児童相談所・学校・医療機関等関係機関と連携して児童及び保護者に対して支援を行った。

##### ア 児童養護施設・措置機関 (児童相談所) 別受託状況

令和2年3月31日現在 (人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	21	14	7	11	6	12	5	9	85
比率	24.7%	16.5%	8.2%	12.9%	7.1%	14.1%	5.9%	10.6%	100.0%

##### イ 乳児院・措置機関 (児童相談所) 別受託状況

令和2年3月31日現在 (人)

	中央	南	川越	所沢	熊谷	越谷	草加	さいたま市	計
人数	0	2	0	3	0	1	0	3	9
比率	0%	22.2%	0%	33.3%	0%	11.1%	0%	33.3%	100.0%

(2) 児童の自立に向けた支援

ア 社会・就労体験事業

施設周辺の協力企業と連携した児童の会社見学及び職場体験、アルバイトを通じた就労体験及びそれに対する助言指導を行った。

職場体験参加児童数	参加延べ日数	受入企業数
3人	5日	2社
会社見学参加児童数	アルバイト助言・指導人数	
12人	16人	

イ 児童自立サポーターズによる就職・進学支援事業

民間企業OB及び地域の経営者等で構成するサポーターズの協力により、模擬面接及び社会人としての心構えの指導などを行った。

模擬面接実施人数	「社会人の心構え」指導人数
5人	2人

ウ 就職・進学の状況

学年	人数	進路状況
中 3	6人	・全日制高校 4人 ・特別支援学校 2人
高 3	5人	・進学 4人 ・グループホーム 1人

(3) 退所児童に対するアフターケア

施設で対応する窓口を明確にし、退所後の児童の状況の把握、相談や課題の解決などの支援を行った。

(児童養護施設)

(回)

相談者	アフターケア実施内容						計	本人以外計	合計	
	電話	来園	勤務先訪問	家庭訪問	その他					
					メール	その他				
退所児童(本人) (137人)	164	113	0	8	157	64	506	310	816	
本人以外	保護者	61	1	0	7	0	8			77
	児相	69	6	0	0	1	5			81
	職場	11	0	2	0	0	0			13
その他	73	1	0	1	9	55	139			

(乳児院)

退所乳児数	アフターケア回数
30人	145回

(4) 心理ケアの実施状況

被虐待児や心的外傷を受けた児童について、精神科医受診及び臨床心理士、心理担当職員による心理ケア等を行った。

(児童養護施設)

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
医師	36人	202回	76回
臨床心理士	39人	1,312回	234回

(乳児院)

区分	実人数	延べ回数	職員への助言・指導
臨床心理士	4人	35回	52回

(5) 親子訓練室を活用した自活訓練

高校生を対象に実施し、一人で生活する際の知識や技術の確認を行った。

実人数	延べ回数	延べ日数
20人	20回	48日

(6) 健康管理の状況

入所児童の健康管理については、毎朝の連絡会等を通じて児童の健康状態を常時把握するとともに、各種予防接種、定期健康診断を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療に努めた。

(7) 地域住民との交流・連携

ア 地域自治会との懇談会を通じて施設運営への理解を進め、園主催の防災に係る研修会への参加呼びかけ、子ども食堂や地域合同清掃、運動会等の地域行事へ積極的に参加した。

イ 地域の学校と連携し、清掃作業、廃品回収及びPTA活動等にも職員が参加した。

ウ 児童が地域の特別養護老人ホームでボランティアとして活動するほか、慰問活動も行った。

エ 地域で子育て中の母親を対象にタッチケア講習会として、「赤ちゃん塾」を3回開催した。

(8) 里親に関する状況

ア 里親委託

乳児院において、家庭引取りが難しい乳児について、児童相談所と連携し里親委託に向けて調整した結果、今年度1名の乳児が里親委託となっている。児童養護は、里親委託はなかったが、委託に向けて交流を開始するなど推進を図った。

イ 里親への支援

施設から委託した里親を中心に、地域の里親、未委託里親を対象として懇談会を実施し、近況を確認するとともに養育相談に対して助言等を行った。

(実施日及び参加数)

5月18日	6組15人	9月8日	9組19人
11月30日	7組15人	2月9日	7組16人

(9) 主な行事の実施状況

年 月	主 な 行 事 内 容
31. 4	花見
令和元. 5	サッカー招待(10月まで毎月招待)、鯉のぼり掲揚、バーベキュー 地域ごみ0運動、野球招待、乳児院春の遠足
6	地域関係者との連絡会、老人ホームボランティア、サーカス招待
7	七夕、野球招待、棟旅行(7月~8月)
8	お母さんと一緒コンサート招待、球技大会、夕涼み会、地区祭り キャンプ、ロータリークラブ主催花火大会
9	敬老会慰問、フットサル招待、野球招待、ロータリークラブ主催秋祭り
10	絵本読み聞かせ会、乳児院ハロウィン
11	七五三、同窓会、児童会行事(ミニ縁日)、乳児院秋の遠足
12	ラーメンボランティア、クリスマス会、餅つき大会、年末棟外出行事
令和2. 1	初詣、児童会行事(ボーリング)
2	節分
3	ひな祭り、卒園行事

(10) ボランティアの受入れ

受入延べ人数		主 な 内 容
児童養護施設	乳児院	学習・余暇支援、行事理髪、環境整備等
516人	255人	

(11) 実習生の受入れ

ア 児童養護施設

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	116人	1,389日
社会福祉士実習	8人	152日
計	124人	1,541日

イ 乳児院

区 分	実人数	延べ日数
保育士実習	22人	239日

(12) 見学者の受入れ（延べ人数）

児童養護施設	乳児院
514人	441人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

児童会の開催や意見箱の設置、満足度調査、アンケートの実施等を通し、児童及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 工事の実施

居住棟破損個所の修繕、外溝排水溝の蓋及び水路の修繕、居住棟給湯器の交換修理、外灯LEDへの交換修理、エアコン修理などを実施した。

(2) 保守点検の実施

児童の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(3) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 児童を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 総合防災訓練、夜間想定訓練などを含め防災訓練を毎月1回実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 防犯のための、緊急通報システムを継続契約するほか、全体会議で防犯に対する意識向上のための講義と暴漢に対する防衛・対応技術を得るための模擬訓練を実施した。

(4) 危機管理体制の充実

ア 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

イ 問題兆候への「気づき」

棟会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、棟職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

ウ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、権利擁護に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 「事例検討会」や「虐待の背景と支援のアプローチ」等について施設内研修を実施した。

(2) 外部研修に積極的に職員を派遣した。

(3) 性教育に関する研修として、助産師を講師とした職員研修及び職員による座談会を実施した。

## 5 花園

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、作業等を通して利用者の社会参加を促進した。

また、短期入所の受入れやグループホームの運営等により在宅障害児（者）の支援を行った。

### 1 利用者状況

#### (1) 入退所の状況

(人)

施設種別		性別	定員	前年度末	入 所	退 所	年度末
障害者支援施設	入 所	男	—	54	2	1	55
		女	—	43	1	1	43
		計	110	97	3	2	98
	通 所	男	—	10	1	0	11
		女	—	4	0	0	4
		計	20	14	1	0	15
計		男	—	64	3	1	66
		女	—	47	1	1	47
		計	130	111	4	2	113

#### (2) 退所の理由

(人)

施設種別		区分	地域 移行	死亡 (病気)	その他	計
障害者支援施設	入所		0	0	2 (他施設移行等)	2
	通所		0	0	0	0
計			0	0	2	2

#### (3) 障害支援区分

令和2年3月31日現在 (人)

施設種別		区分	男	女	計	割合	
障害者支援施設	入 所	6	45	33	78	79.6%	
		5	7	7	14	14.3%	
		4	3	3	6	6.1%	
		計	55	43	98	100.0%	
	通 所	6	2	0	2	13.3%	
		5	6	1	7	46.7%	
		4	2	2	4	26.7%	
		3	1	1	2	13.3%	
	計			11	4	15	100.0%

#### (4) 通学状況(深谷はばたき特別支援学校)

令和2年3月1日現在 (人)

学年	小学部							中学部				高等部				合計	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計		
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2

## 2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

### (1) 日中支援の状況（他事業所を利用する7人を除く）

	小ホール班	センター班	農園芸班	リサイクル班	木工(通所)	計
男	2	26	10	15	11	64
女	18	11	0	7	4	40
計	20	37	10	22	15	104

### (2) 短期入所

在宅の障害児（者）のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	663件	1,618日

※日中一時支援事業（276件 延べ276日）含む

### (3) グループホームの運営

令和2年3月31日現在（人）

名 称	定 員	利用人数
アパートメント花園	7	7
グループホーム小前田	4	4
計	11	11

### (4) 健康管理の状況

日ごろから利用者の健康観察を行うとともに、定期的に健康診断を実施して疾病の早期発見・早期治療及び予防に努めた。

(人)

区分	科目	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	婦人科	歯科	皮膚科 泌尿器科	健康診断	計
		通院	1,349	1,425	35	15	31	55	250	25	186
内 訳	嘱託医	1,327	1,383	0	0	31	49	0	0	186	2,976
	その他	22	42	35	15	0	6	250	25	0	395
入院		0	3	0	0	0	0	0	0	0	3

### (5) 主な行事の実施状況

年 月	主 な 行 事 内 容
令和元. 5	ふれあいピック春季大会
6	カラオケ外出
7	七夕祭り、小前田北自治会夏祭り、近隣施設の納涼祭、福祉避難所設置訓練
8	映画外出、外出（サンシャイン水族館）、深谷花火大会
9	花園地区市民体育祭、外出（那須サファリパーク）
10	風船バレー、ふれあいピック秋季大会、ふれあいスポーツ大会
11	外出（那須動物王国）、総合防災訓練、アミカルコンサート、ふれあいの集い
12	外出（カップラーメン工場見学）カラオケ外出、クリスマス会
令和2. 1	初詣、新年会
2	外出（いちご狩り）
3	ひなまつりコンサート(中止)

(6) ボランティアの受入れ

受入延べ人数	主 な 内 容
297人	お茶・お花教室、外出支援、行事補助等

(7) 実習生の受入れ

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	69人	817日
社会福祉士実習	2人	46日
計	71人	863日

(8) 見学者の受入れ

受入延べ人数
218人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常的な利用者との関わりや利用者の会、保護者との連絡会、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等を通して、利用者及び保護者の意向や要望を把握し支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 総合防災訓練を年1回実施するほか、利用者の障害状況等を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を毎月実施し災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 福祉避難所設置訓練を深谷市防災課と共同で実施した。

(4) 不審者の侵入対策として、各寮に警備会社へ直接通報できる携帯型の非常通報装置を配備したほか、防御用としてさすまたを配備し、警察署員による防犯訓練を実施した。

(5) 危機管理体制の充実

ア 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

イ 問題兆候への「気づき」

寮会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、寮職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

ウ 職員との面談と教育

園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 救急法や虐待防止などに関する施設内研修を実施するとともに、外部の関係機関が主催する研修に積極的に参加させ、職員の資質と専門性の向上を図った。

(2) 施設入所支援に配置する職員に対し強度行動障害支援者養成研修を受講させた。

(3) 危機管理能力の向上を図るため、ヒヤリハット及び事故報告を基にした事例検討を行い、日常業務からの意識付けを行った。



## 6 あげお

利用者が安全で自立した生活ができるよう、利用者の特性に応じた支援を行うとともに、活動等を通して利用者の社会参加を促進した。

また、短期入所の受入れやグループホームの運営、相談支援事業等により在宅障害児（者）の支援を行った。

### 1 利用者状況

#### (1) 入退所の状況

(人)

施設種別		性別	定員	前年度末	入 所	退 所	年度末
障害者支援施設	入 所	男	—	41	1	1	41
		女	—	38	4	5	37
		計	80	79	5	6	78
	通 所	男	—	10	1	1	10
		女	—	11	0	1	10
		計	20	21	1	2	20
計	男	—	51	2	2	51	
	女	—	49	4	6	47	
	計	100	100	6	8	98	

#### (2) 退所の理由

(人)

施設種別		区分	地域移行	死亡(病気)	その他	計
障害者支援施設	入所		2 (グループホーム・自宅)	1	3 (老人ホーム・他施設・長期入院)	6
	通所		1 (自宅)	0	1	2
計			3	1	4	8

#### (3) 障害支援区分

令和2年3月31日現在(人)

施設種別		区分	男	女	計	割合
障害者支援施設	入 所	6	36	19	55	70.5%
		5	5	12	17	21.8%
		4	0	6	6	7.7%
		計	41	37	78	100.0%
	通 所	6	4	1	5	23.8%
		5	5	4	9	42.8%
		4	2	4	6	28.6%
		3	1	0	1	4.8%
		計	12	9	21	100.0%

### 2 利用者支援

利用者ニーズに基づく個別支援計画を策定し、利用者の特性に応じた支援を行った。

#### (1) 日中支援の状況 (入所利用者と通所利用者の合計)

(人)

	Aグループ (手工芸・陶芸・園芸・受託加工・音楽・表現・身体・スポレク等)	Bグループ (軽作業・表現・音楽・身体活動等)	Cグループ (散歩、表現・音楽・ビーズ通し・ドライブ等)	計
男	20	18	14	52
女	23	13	11	47
計	43	31	25	99

## (2) 短期入所

在宅の障害児（者）のニーズに応えるため、短期入所を受け入れた。

区 分	受入延べ件数	延べ日数
障害者支援施設	1,022件	2,661日

※日中一時支援事業（315件 延べ315日）含む

## (3) グループホームの運営

令和2年3月31日現在（人）

名 称	定 員	利用人数
グループホームあげお	6	5
サテライトあげお	1	1
グループホームひらつか	5	5
グループホームふたつみや	5	4
計	17	15

## (4) 健康管理の状況

日ごろから利用者の健康観察を行うとともに定期的に健康診断を実施して、疾病の早期発見・早期治療及び予防に努めた。

（人）

区分	科目	精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	婦人科	歯科	皮膚科	乳腺科	リハビリ科	泌尿器科	健康診断	その他	計
		通院	492	394	115	33	43	37	224	59	0	0	40	297	49
内訳	嘱託医	439	279	39	2	0	34	0	0	0	0	0	0	0	793
	その他	53	115	76	31	43	3	224	59	0	0	40	297	49	990
入院		2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11

## (5) 相談支援事業

障害者相談支援事業及び障害児等療育支援事業を実施し、在宅の障害児（者）を支援した。

## ア 障害者相談支援事業

（件）

訪 問	来 所	電 話	計
539	261	564	1,364

## イ 障害児等療育支援事業

（件）

在宅支援訪問療育等指導	在宅支援外来療育等指導	施設支援一般指導	計
331	142	88	561

※他に上尾市・伊奈町の発達支援巡回事業を幼稚園等21カ所を対象に、延べ44回実施した。

## (6) 主な行事の実施状況

年 月	主 な 行 事 内 容
令和元. 5	東武動物公園（宮代町） VIVA LA ROCK 2019（さいたまスーパーアリーナ）
6	グリコピア工場見学（北本市）
7	サンシャイン水族館（東京都豊島区）
8	地域夏祭り参加（3地区）
9	長寿を祝う会（施設内）
10	あげおまつり（台風19号のため中止） 彩の国ふれあいピック（熊谷ドーム）
11	ガトーフェスタハラダ工場見学（群馬県高崎市）
12	年末お楽しみ会（施設内）／ケーキの会（施設内）
令和2. 1	新春を祝う会（施設内）／ボランティア懇談会（施設内）
3	いちご狩り（久喜市菖蒲町）
	その他：年間を通して生活委員会活動（地域の清掃活動、花植えなどを実施。）

## (7) ボランティアの受入れ

受入延べ人数	主 な 内 容
360人	絵手紙、生け花、喫茶室、手工芸、ハーモニカ、活動ボウ等

(8) 実習生の受入れ

区 分	実 人 数	延 べ 日 数
保育士実習	40人	475日
社会福祉士実習	3人	70日
その他(県職員、特別支援学校等)	40人	46日
計	83人	591日

(9) 見学者の受入れ

受入延べ人数
279人

3 利用者等のニーズの把握及び対応

日常的な利用者との関わりや利用者参加の生活委員会、家族との連絡会、意見箱の設置、満足度調査、食事の嗜好調査等を通し、利用者及び家族の意向や要望を把握し、支援内容の向上に努めた。

4 施設・設備の維持管理

(1) 保守点検の実施

利用者の安全確保とサービスの向上及び施設環境を維持するため、計画的な施設・設備の保守点検等を実施し、適正な維持管理を行った。

(2) 施設内点検

職員による定期的な施設内点検を実施し、改善・補修の必要性が生じた時には速やかに対応した。

5 危機管理への対応

(1) 利用者を災害から守るため、法令に基づく建物、防災機器及び各種機器設備等の保守点検を定期的に行い安全確保・事故防止に万全を期した。

(2) 消防署の指導のもとに年1回総合防災訓練を行うとともに利用者の障害特性を考慮の上、消火・避難誘導訓練等を実施し、災害予防と安全の確保に努めた。

(3) 福祉避難所開設訓練に関する非常発生時の体制構築訓練やHUG訓練の実施及び備蓄品の整備を行い、災害発生時の即応体制を整えた。

(4) 危機管理体制の充実

ア 夜間の勤務状況のチェック

園長、副園長などの管理職及び夜間リーダーが夜間の現場を不定期に巡回し、勤務状況のチェック・指導を実施した。

イ 問題兆候への「気づき」

部署会議等における情報交換を綿密に行うとともに、ニーズ調査などの機会も利用し、部署職員全員で問題点やその兆候の把握に努めた。

ウ 職員との面談と教育

園長及び副園長が契約職員を含む全職員との個別面談を実施したほか、虐待防止に関する研修を実施した。

6 職員の育成

(1) 職員の資質向上を図るため、施設内研修(救急法・蘇生法・摂食嚥下・防犯・虐待防止・倫理綱領と行動基準・権利擁護等)を実施するとともに、外部機関主催の研修会に参加し、支援・業務及び危機管理等に関する幅広い知識を学んだ。

(2) 適切な支援の提供と業務遂行能力を高めるため、個別支援計画の作成時や支援場面において上位・経験職員による個別指導を実施するとともに、必要に応じて助言・指導が行えるよう個別研修体制を整え、正規職員と契約職員相互の資質向上に努めた。

また、入職1年目の職員を対象にスキルアップ研修や3年未満職員を対象に座談会を実施した。